

当面の検討課題例

「自然公園のあり方に関する中間答申 (2) 自然公園の課題」及び「自然公園のあり方懇談会での議論について(H14.7.2 自然公園のあり方検討小委員会資料)」において、全般的な検討課題が示されたところ。

概ね向こう1年間においては、以下の1～5に示す視点ごとに優先的に検討を進めるべきテーマを選択しつつ、順次検討を進めることとしたい。

1 自然公園制度の基本的方向

(テーマ例)

自然公園の歴史的経緯と役割の拡大
各種保全制度の中での自然公園の位置付け
様々な役割に応じたタイプ区分の考え方

2 多様な自然体験の場としての自然公園

(テーマ例)

環境教育・自然学習の場としての計画・整備のあり方
自然体験のレベルに応じた利用調整と施設整備のあり方
自然公園施設の課題と改善方策

3 生物多様性保全と自然公園

(テーマ例)

科学的データの収集整備とモニタリングの実施
自然再生等保全を軸とする事業の積極的推進方策

4 地域社会など多様な主体が係わる自然公園

(テーマ例)

多様な主体の参画による公園のビジョンづくりや情報基盤整備
地域の人材、NGO等の活力を活かした整備・管理等の推進方策
地域の振興、活性化への自然公園の貢献のあり方
整備・管理の費用負担と役割分担の考え方

5 個性と特徴を活かした自然公園づくり

(テーマ例)

公園のタイプや地区の特性に応じた計画・整備・管理の手法
重点的な保全・整備・管理を行う地区もしくは施設等のあり方
「国立公園」を国民にとって身近な存在にするための方策